

かわぐち消化器内科

第32回 ABC検診とは？

健診で「ABC 検診が要精査」と言われて受診される方がいらっしゃいます。ABC 検診とは、胃カメラやバリウム検査を行わずに、血液検査(ペプシノゲン値とピロリ抗体)で将来の胃がんリスクを予測する検診です。



院長 川口 義明

ペプシノゲン値で胃粘膜の萎縮の程度(老化)を、ピロリ抗体でピロリ菌感染(胃がんの原因)の有無を判断します。この2つの結果を組み合わせ、胃がんのリスクをA、B、C、Dの4つのグループに分類します。A < B < C < Dの順に胃がんのリスクが高くなっていきます。

B群以上に該当する方は、胃カメラ検査を受けて、胃粘膜の萎縮やピロリ菌感染の有無、胃がんがないかを調べ、ピロリ菌が見つかった場合は、除菌治療を行うことが大切です。

なお、胃酸を抑える薬を服用中の方、腎障害がある方、胃を切除された方は、ABC 検診の結果が正確に出ないことがあります。また、過去にピロリ菌の除菌治療を受けた方は、胃の粘膜に萎縮があるため、毎年の胃カメラ検査をお奨めします。



かわぐち 消化器内科

TEL **045-830-5311**

港南区港南台5-23-30

港南台医療モール3F



〔診療時間〕

午前 9:00-12:00

午後 16:00-17:30

〔休診〕

木曜・日曜・祝日

(土曜午後)

